

# 学校だより

11 インディアナ日本語学校  
No22-2(10月)全校生354人



## うちの子って天才!?

民間の調査会社が、0~6歳児を持つ親を対象に、「うちの子を天才と思ったことがあるか」の調査をしたところ、80%近い親が、「ある」と回答しています。「天才!」と感じる場面は、「物事の理解が早い」「言葉を覚えるのが早い」等が上位で、日常の中から才能を感じるようでした。「将来の職業」については、「子どもの自主性に任せて、将来を築いてほしい」と思う親が85%もいました。それから・・・年後、子どもに期待を寄せるのは親しかおりません。親をするのも努力と忍耐がいります。

### 1 よかった高等部交流会

○先週、デトロイトりんご会補習校の高校生と先生方36人が来校され、本校の高校生と交流会を持ちました。2時間の交流会でしたが、環境を同じくする高校生の交流度は高く、お互いの刺激と向上の機運は高まったと思います。今後の高校生活の一助になることを期待します。



## 文章を書こう

<p>1 年 まいあ ハスケン 舞彩</p>	<p>このまえのどようびは、にほんごがっこうのうんどうかいでした。わたしは、60mそうとたまいれと大だまころがしにでました。フラフープのなかに、おかあさんといっしょにはいってはしったのが、1ばんたのしかったです。わたしは、あかぐみでした。しろぐみは、とてもつよかったので、あかぐみはまけてしまいました。らいねんはかちたいです。</p>	
<p>1 年 はったつかさ 八田 師沙</p>	<p>わたしは、うんどうかいをしました。60mそうをしました。3いでした。1いにはなれなかつたです。それでも、くやしはなかつたです。つぎに、おやこでする、「わになつてはしよう」では、わたしは、はちにさされてしまいました。くやしなかつたです。それでも、しろぐみはかちました。いたくてないてしまったので、ほかのきょうぎにはでられません。さいごは、しろぐみがかつてうれしなかつたです。</p>	
<p>2 年 すえながはるみ 末永 遥巳</p>	<p>うんどう会で、ぼくは赤組でした。ぼくは、ときようそう、玉いれ、トルネードせんぷう、大玉ころがしをしました。ときようそうでは、2いになりました。くやしなかつたです。でも、うんどう会は、すごかつたのしかつたです。</p>	
<p>2 年 やすだまお 安田 磨央</p>	<p>わたしは、大玉ころがしをやるとき、どきどきしました。そして、わたしが玉をころがしていたら、おかあさんが「まお、がんばれ!」と、言ってくれたので元気がでました。それと、白がかつたのでとてもうれしなかつたです。</p>	
<p>3 年 なるせみゆ 成瀬 心優</p>	<p>わたしは、80メートル走が一番楽しなかつたです。「よーい、ピー」とふえが鳴つたので、わたしは、気合を入れて走りなつた。でも、みんなはやいのでびっくりしました。走りながら、「2年生のときより長いコースだなあ」と思いました。そして、けっかは2位でした。わたしは、「来年は、ぜいつたい1位になつたい」と思いました。赤組は負けてしまつたけれど、楽しい運動会でした。</p>	
<p>5 年 わいみや 章 美琳</p>	<p>一番心に残つたのは「赤白対抗リレー」でした。4年生から6年生の選ばれた選手がリレーに出ます。私もその一人でした。私は、初めから4番目に走ることになりました。初めは、私たちのチームはビリでしたが、前に走つていた子が私にバトンをわたしたとき、がんばれば1位になれると思つた。バトンがわたされ、私は全速力で走りなつた。そして、一人ひとりこして行き、次の子にバトンをわたすころには、1位になつていました。私はうれしくてたまりませんでした。わたしは、バトンをわたした後も、1位を保つように願ひ、まだ走つている人たちを応援し続けました。そして、ついに最初の人ゴールに近づいてきました。「ワー」とみんながさけぶ声がしました。勝つたのでした。赤組が勝つたのでした。</p>	
<p>6 年 まつもとてつろう 松本 徹朗</p>	<p>ぼくが、楽しみにしてつたのは、校長先生の仮装だ。今年は、スカイツリーとサッカーだつた。なるほど、これはおもしろいと思つた。そして、「100m走」が始まつた。すごく緊張した。そのせいかどうかビリになつてしまつた。すごく悔しなかつた。日本では、足が速い方ではないのでリレーに出られて緊張した。ぼくは、アンカー。バトンを待つが走者が来ない。よく見ると、みんなから離され、後ろの方だつたのだ。バトンをもらい走つたが、みんなはずつと前にいて結局抜かせず、ビリになつた。なんとなく悲しい。ぼくは、ぜんぜん速くないのになぜリレーの選手になつたのかと思つた。昼食をはさみ、最後の競技、「おしりでバンバン」が始まつた。また、ビリかと思つたが、縄跳びと風船を割るのがうまいき、なんとか2位になつた。すべての競技が終わり、なんと白組が勝つた。天にもものぼる心地で、すごくうれしなかつた。「途中の結果が悪かつたとしても、全力を出せばよい」という気持ちになつた。神様が見えた気がした。</p>	